ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成 30（2018）年
５月５日発行
第２号

夢のふくらむ学校



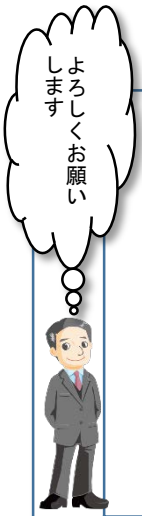
当たり前の補習校・・・・？



日本では、５月５日は「こどもの日」で祝日となっています。日本の子どもたちは、ゴールデンウイーク真っ只中のこどもの日を楽しく過ごしていることでしょう。翻って補習校は、本日で５回目の授業日を迎えました。私（校長）は、ＬＩ校とW校を２回ずつ経験しました。そこで、これまでに私が見聞きしたことや教職員の意見をもとに、思うところを記してみます。多少、耳の痛い話もあるかもしれませんが、ご了承願います。

さて、ご存知かと思いますが、補習校は日本政府が認定した義務教育学校ではありません。あくまでも日本の学習指導要領に準じた教育を、教育の機会均等と義務教育無償の精神に沿うものとして、海外の日本人にも保障しようという公立学校的な性格を有する私立学校です。このような性格の補習校ですが、決して「あって当たり前の補習校」ではありません。ニューヨーク日本人教育審議会をはじめ関係各方面の絶大なるご尽力によって、非常に厳しい条件の中で何とか借用できる学校を見つけ、管轄の教育委員会や学校側の理解と許可のもとに、使用料を支払って使っています。現地校が休みの日に「教室や設備等を使わせていただいている。」ということです。当然、一切迷惑はかけない、という約束で借りています。

このことを踏まえ、児童生徒の皆さん、保護者の皆様にお願いしたいことを以下に列記します。





- **登下校時や授業の始めと終わりのあいさつを大きな声でしっかり！**
- **補習校では、日本語しか使わない！**
- **授業規律をしっかり守ろう！**
- **保護者の皆さんは、お子さんを講堂で座らせた後（ＬＩ校）、あるいは教室に入れた後（W校）は、速やかにその場を離れましょう！（久しぶりのおしゃべりや必要な伝達などは、廊下やホールではなくカフェテリアでお願いします。）**
- **授業中に廊下から教室をのぞきこまないでください。（授業への集中の妨げになります）**
- **カフェテリアは、基本食事をする場所です。小さいお子さんが土足で机や棚に上るのは、不衛生かつ危険です。しっかり注意・指導をお願いします。**

訂正とお詫び

４月２８日配布の「第３９回海外子女文芸作品コンクール」の要項に間違いがありました。

５	締切日	誤	６月２６日（土）→	正	５月２６日（土）

以上のとおり訂正し、お詫び申し上げます。よろしくお願い致します。